



日本蛋白質科学会ニュースレター

Vol. 11, No.9 (2011)

第 12 回日本蛋白質科学会年会、開催概要/ワークショップ募集のお知らせ

平成 23 年 10 月 11 日

第 12 回名古屋年会は 2012 年 6 月 20 日（水）～ 22 日（金）に名古屋国際会議場で開催されます。

【開催概要】

開催日：2012 年 6 月 20 日（水）～ 22 日（金） /懇親会 6 月 21 日（木）

会場：名古屋国際会議場 <http://www.nagoya-congress-center.jp/>

若手奨励賞シンポジウム/ポスター賞 応募期間：2/22(水)-3/13(火)予定

演題投稿期間：2/22 (水) - 3/22 (木) 予定

【プログラム】

年会組織委員会企画として、以下のプログラムが提案されております。

シンポジウム

1. 細胞内のタンパク質動態と細胞機能
遠藤斗志也（名大・院・理）
Protein dynamics and cellular functions
Toshiya Endo (Nagoya Univ.)
2. Structural biology in YouTube era
神田大輔（九大・生医研）
Structural biology in YouTube era
Daisuke Kohda (Kyushu Univ.)
3. 若手奨励賞シンポジウム
田口英樹（東工大・生命理工），加藤晃一（岡崎統合バイオ），前仲勝美（北大・院・薬）
Young Scientist Symposium
Hideki Taguchi (Tokyo Inst. Tech.) ,Koichi Kato (NINS) ,Katsumi Maenaka
(Hokkaido Univ.)

ワークショップ

1. 過渡的複合体が関わる生命現象の統合的理解
嶋田一夫 (東大・院・薬)
Integrative understanding of biological processes mediated by transient macromolecular complexes
Ichio Shimada (Univ. of Tokyo)

2. in vivo 蛋白質科学：構造形成と分解
稲葉謙次 (九大・生医研), 中戸川仁 (東工大・フロンティア)
in vivo protein science: folding and degradation
Kenji Inaba (Kyushu Univ) , Hitoshi Nakatogawa (Tokyo Inst. Tech.)

3. ここまでわかったシャペロニン：作動機構と細胞内での役割
田口英樹 (東工大)
Update on chaperonins: molecular mechanism and cellular functions
Hideki Taguchi (Tokyo Inst. Tech.)

4. WS タンパク質の機能拡張子としての糖鎖
加藤晃一 (岡崎統合バイオ), 山口芳樹 (理研)
Sugar chains as protein extensions for functional promotion
Koichi Kato (NINS) Yoshiki Yamaguchi (RIKEN ASI)

5. WS 植物の環境感覚をささえる多様な蛋白質機能
徳富 哲 (大阪府大)
Plant perceptions: from proteins to responses
Satoru Tokutomi (Osaka Pref. Univ.)

6. 概日時計の理解に向けたタンパク質科学
秋山修志 (名大・院・理)
A diverse role of clock proteins in circadian timing system
Shuji Akiyama (Nagoya Univ.)

7. RNA 機能を支えるタンパク質
泊 幸秀 (東大・分生研), 吉久 徹 (名大・物国セ)
Proteins for supporting RNA functions
Yukihide Tomari (Univ. of Tokyo) , Tohru Yoshihisa (Nagoya Univ.)

【ワークショップ公募】

ワークショップのテーマを、募集いたします。1テーマ 150分の時間枠（ポスターセッション後、夕方開催予定）で、企画を公募いたします。ご提出いただいた企画は、厳正なる審査のうえ、採否を決定いたします。採否結果は11月下旬～12月初旬に応募者へご連絡いたします。会員の皆さまの積極的なご提案をお待ちしております。

■■募集期間■■

2011年10月12日（水）～11月18日（金）

■■募集要領■■

下記事項をご記入のうえ、11月18日（金）までに年会事務局（pssj2012@aeplan.co.jp）へE-mailにてご提出下さい。

1. テーマ名(和英)
2. オーガナイザー×2名の、氏名(和英)・所属(和英)
3. 概要（和英 200字程度）
4. 予定演者の氏名・所属（5-6名）
男女共同参画の観点より、可能な限り多くの女性演者をご登用いただきますよう、お願いいたします。また、シンポジウム・ワークショップでの口頭発表は年会を通じてお一人につき1演題までとさせていただきます（オーガナイザー自身の発表も可）。ワークショップ、シンポジウムの発表者もポスター発表（1演題まで）を行うことは可能です。非会員ワークショップ演者には年会参加（懇親会有料）をご招待させていただきます。旅費の補助はございません。
5. 連絡窓口となるオーガナイザーの氏名および連絡先（〒、住所、所属、TEL、FAX、E-mail）

上記を記入の上、11月18日（金）までに、年会事務局（pssj2012@aeplan.co.jp）へE-mailでお送り下さい。採否に関しましては、後日組織委員会で決定し、お知らせいたします。

第12回日本蛋白質科学会年会

年会長 遠藤 斗志也（名古屋大学大学院 理学研究科）

お問い合わせ先：

第12回日本蛋白質科学会年会事務局

ホームページ：<http://www.aeplan.co.jp/pssj2012/>

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-4-63 新大阪千代田ビル別館9階

（株エー・イー企画大阪オフィス内）

E-mail: pssj2012@aeplan.co.jp

Tel: 06-6350-7163 Fax: 06-6350-7164

電子メール版ニュースレター発行

〒562-8686 大阪府箕面市稲4-1-2 千里インターナショナル内

日本蛋白質科学会事務局

Tel: 072-729-4125, Fax: 072-729-4165

E-mail: pssj@senri-inter.jp

URL: <http://www.pssj.jp>

（編集責任者：稲葉 謙次） 2011年10月11日